



# ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和3年10月26日  
NO. 79



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

## おめでとう～太中生の活躍～

第67回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査  
(R3 10)

入選 高階 冴 加藤 凜乙

令和3年度中学生の「税についての作文」(R3 10/15)  
大曲税務署長賞 佐々木 此美  
「税の大切さ」(右項)

令和3年度ビブリオバトル県南地区大会大仙大会  
(R3 10/23)



ブックリーダー賞  
小松 朋美

紹介本:高校事変

第35回平和中学校招待新人野球大会 (R3 10/24)  
第3位 野球部

秋田県中学校ソフトテニス1年生大会大曲仙北選考会  
(R3 10/24)

男子 第1位 山内 航太・佐々木 夢翔

女子 ベスト4 鈴木 日菜・鈴木 優里

(県大会は11/13, 大館市ニプロハチ公ドーム)



令和3年度秋田県学校関係緑化コンクール  
学校環境緑化の部  
(R3 9/7)  
秋田県緑化推進委員会会長賞



## 「税の大切さ」～佐々木 此美

私は今まで物やサービスを購入した際、なぜ消費税を払っているのか考えたことがなかった。ただ料金にプラスされているからといって払っているだけだった。だから、消費税率が5パーセントから10パーセントになった今も、払うお金が増えたという感覚しかなかった。しかし、税の作文を初めて書くにあたって、インターネットなどを使って税について調べたり、考えてみたりすると、私たちの生活の大半は税によって成り立っているということが分かった。例えば、小・中学校で使っていた教科書のお金は税金によって補われている。また、子供・子育て、支援給付などにも使われている。

今年の夏、曾祖母が転んで骨折し、入院した。高齢者が入院すると、多額な料金がかかるが、社会保障制度のおかげで料金が格段と安くなった。そのおかげで困っている人の負担が減り、多くの人が救われるということはとてもいいことだと思う。これらのことがあり、入院していた曾祖母が元気に暮らすことができている。こういう幸せなことが訪れるのは、いろいろな人が一生懸命働き、当たり前のように税金を払っているからだ。だから、私たちは感謝の気持ちを忘れてはいけない。日本は元々借金が多く財政に余裕はない。しかし、今回のコロナウイルスの影響でたくさんの飲食店などのお店の利益が減って多額のお金を支出したことで、もっと日本の財政は厳しくなったと思う。収入より支出の方が多くなっている現状で、国民一人あたりの借金の負担額は983万円で、日本の財政をよくするには一人あたりの税金の額を増やすべきだと私は思う。しかし、このような対策をとっていかないと日本の財政が回らなくなってしまう。財政がより回るよう、若い政治家の方々がいろいろな対策をとっていく方が日本の未来が明るくなると思う。なぜなら、若い世代の人達が物事を主導していかねばならないと思ったからだ。私は、小学校の頃、5年間バスケットボールをしていた。最高学年になって今度は先輩達のように私たちが引っぱっていかねばならない状況の時、私は監督にキャプテンを任せられ、長い時間いろいろな場面でみんなを引っぱってきた。みんなを引っぱっていくということは自分が想像していたよりもすごく大変だった。だけど、世の中は物事を主導できる人を求めている。だから、その所を何か対策を考えて生活が苦しくならないようにしてほしいと思った。

税金というものは、私たちを助けてくれるものであり、困らせるものでもある。だが、税金というものがあるから私たちは当たり前のように生活できていると思う。だから次は、私たちが大人になったら、当たり前のように税金を払えるようになりたいと思った。そして、日本の未来がより明るくなるよう、今自分ができる事を考えて生活したいと思った。

~~~~~